

[083_04] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/1800875>

出版情報：法政研究. 83 (4), 2017-03-10. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

九州大学法政学会

特別教育プログラム(一)

ロー・アンド・プラクティス講演会

二〇一六年三月五日(土)

「机上の空論」で終わらない実務的デイベート講義」

講師 樋口正樹(千葉家庭裁判所市川出張所判事)

藤倉徹也(家庭裁判所沖縄支部支部長)

二〇一六年五月二三日(月)

「日中両国の狭間を歩む」

講師 横地 剛(福岡貿易株式会社代表取締役)

二〇一六年七月一四日(木)

「法治国家の闇、冤罪はなぜ作られるのか」

講師 櫻井昌司(布川事件(再審無罪確定)元被告人)

二〇一六年一月二日(金)

「青鞥の冒険——平塚らいてうと仲間たち」

講師 森まゆみ(作家)

二〇一六年二月一七日(土)

「J・S・ミルにおける教養と宗教——『宗教三論』解説」

講師 小田川大典(岡山大学法学部教授)

特別教育プログラム(二) LLPセミナー

法学部一年生向法律入門セミナー

講師 安武雄一郎(弁護士)

藤村享司(福岡地方裁判所裁判官)

八木大和(弁護士)

石川貴司(福岡地方裁判所裁判官)

米口慎也(福岡地方検察庁検察官)

講演会

二〇一六年一月六日(水)

「ブータンにおける国民総幸福度(Gross National Happiness)政策について」

講師 Sonam Tenzin(ブータン内務文化省事務次官)

二〇一六年一月二日(火)

「クールジャパンを立体的に考える——パブリックディプロマシー、ソフトパワー、ネーションブランディング、経済・文化外交との相互関係」

講師 藤井宏一郎(マカイラ株式会社代表取締役、元

Google株式会社執行役員兼公共政策部長)

二〇一六年一月二六日(火)

「国際裁判管轄と外国判決承認分野における国際立法の動向について」

講師 Anselmo Reyes (ハーグ国際私法会議香港事務

所長)

二〇一六年六月一六日(木)

「Economics of Innovation」

講師 青木玲子(九州大学理事)

ローマ法研究会

二〇一六年一月七日(木)

D. 2, 14, 40 pr.-1 Pap. 1 resp.

報告者 梁田史郎(九州大学)

二〇一六年一月二一日(木)

D. 2, 14, 40, 2 Pap. 1 resp.

報告者 五十君麻里子(九州大学)

二〇一六年四月二一日(木)

D. 2, 14, 40, 3 Pap. 1 resp.

報告者 菅尾暁(九州国際大学)

二〇一六年五月二一日(木)

D. 2, 14, 41 Pap. 11 resp.

報告者 梁田史郎(九州大学)

二〇一六年五月二六日(木)

D. 2, 14, 42 Pap. 17 resp.

報告者 五十君麻里子(九州大学)

二〇一六年六月九日(木)

D. 2, 14, 43 Paul. 5 quaest.

報告者 菅尾暁(九州国際大学)

二〇一六年六月二三日(木)

D. 2, 14, 44 Scaev. 5 resp.

報告者 梁田史郎(九州大学)

二〇一六年七月七日(木)

D. 2, 14, 45 Hermog. 2 iuris epit.

D. 2, 14, 46 Tryph. 2 disp.

報告者 五十君麻里子(九州大学)

二〇一六年一〇月六日(木)

D. 2, 14, 47 pr. Scaev. 1 dig.

報告者 菅尾暁(九州国際大学)

二〇一六年一〇月二〇日 (木)

D. 2, 14, 47, 1 Scaev. 1 dig.

報告者 梁田史郎 (九州大学)

二〇一六年十一月一〇日 (木)

D. 2, 14, 48 Gai. 3 ad l. XII tab.

D. 2, 14, 49 Ulp. 36 ad Sab.

報告者 五十君麻里子 (九州大学)

二〇一六年十一月二四日 (木)

D. 2, 14, 50 Ulp. 42 ad Sab.

報告者 菅尾暁 (九州国際大学)

二〇一六年十一月五日 (木)

D. 2, 14, 51 Ulp. 26 ad ed.

報告者 梁田史郎 (九州大学)

サヴィニー研究会

二〇一六年一月二三日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二二五節前半

報告者 赤松秀岳 (九州大学)

二〇一六年二月二七日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二二五節後半

報告者 上村一則 (久留米大学)

二〇一六年四月二三日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二二六節

報告者 遠藤歩 (九州大学)

二〇一六年五月二八日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二二七節

報告者 野田龍一 (福岡大学)

二〇一六年七月二日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二二八節

報告者 大久保憲章 (広島修道大学)

二〇一六年九月二四日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二二九節

報告者 梁田史郎 (九州大学)

二〇一六年一〇月二二日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三〇節

報告者 菅尾暁 (九州国際大学)

二〇一六年十一月二六日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三一節

報告者 田中教雄 (九州大学)

二〇一六年十二月二四日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三二節

報告者 五十君麻里子（九州大学）

九州公法判例研究会

二〇一五年度冬期（二〇一六年二月一三日）

「行政訴訟における司法へのアクセス保障」

上田 健介（近畿大学法科大学院教授）

「最判平成二七年六月一二日民集六九卷四号一一二一頁

（信義則に係る上告受理申立て理由を排除、匿名組合

契約に基づき匿名組合員が受ける利益の分配と所得区

分の基準、航空機リース事業に出資した匿名組合員が

不動産所得に係るものとして所得税の申告をしたこと

について国税通則法六五条四項という「正当な理由」

があるとされた事例」

田中 晶国（弁護士）

* 科研基盤研究（C）「行政救済の実効性に関するネッ

トワーク型実証研究」および科研基盤（B）「現代行

政の多様な展開と行政訴訟制度改革」との共催

二〇一六年度春期（二〇一六年四月二三日）

「最近のフランスにおける憲法改正論議の動向——緊急

事態条項の議論も含めて」

井上 武史（九州大学大学院法学研究院准教授）

「行政不服審査法43条について」

深澤 龍一郎（九州大学大学院法学研究院教授）

* 科研基盤研究（B）「個別行政法の視座から構想した

行政訴訟制度改革」との共催

二〇一六年度夏期（二〇一六年七月九日）

「裁判所における情報公開」

村上 裕章（九州大学大学院法学研究院教授）

「ヘイトスピーチ規制消極説の再検討」

「ヘイトスピーチ規制消極説の再検討」

奈須 祐治（西南学院大学法学部教授）

「ヘイトスピーチに対する民事救済と憲法」

梶原 健佑（九州大学基幹教育院准教授）

「ヘイトクライム規制の憲法上の争点」

「ヘイトクライム規制の憲法上の争点」

松垣 伸次（福岡大学法学部准教授）

「地方公共団体によるヘイトスピーチへの取組みと課

題」

中村 英樹（北九州市立大学法学部教授）

二〇一六年度公法学会事前報告会（二〇一六年一〇月一

日）

「審議会行政における専門性と『民意』」

勢一 智子（西南学院大学法学部教授）

「財政民主主義」

石森 久広（西南学院大学副学長）

* 科研基盤研究（B）「個別行政法の視座から構想した

行政訴訟制度改革」との共催

二〇一六年度秋期（二〇一六年十一月二日）

「アメリカの水害訴訟における免責問題」

近藤 卓也（北九州市立大学専任講師）

「知的財産権と表現の自由」

大日方 信春（熊本大学法学部教授）

社会法研究会

第四四一回 二〇一六年一月九日（土） 九州大学

「国境を越える労働者の移動に対応した社会保障」

松本勝明（長崎県立大学）

「労働委員会制度の実情と課題」

山下昇（九州大学）

第四四二回 二〇一六年二月六日（土） 九州大学

「雇用平等法の形成と展開」

柳澤武（名城大学）

「外国人労働者―雇用政策と労働法」

早川智津子（佐賀大学）

第四四三回 二〇一六年三月五日（土） 九州大学

「生活保護の財政責任―地方交付税制度からの検討―」

上原紀美子（久留米大学）

「労働契約の成立をめぐる法理論の課題と未来」

所浩代（福岡大学）

第四四四回 二〇一六年四月二日（土）

福岡大学文系センター棟

シンポジウム「子ども支援のあり方と社会保障法」

「趣旨説明」

平部康子（福岡県立大学）

「社会保障法制における『子ども』のニーズの位置付け

と変容」

伊奈川秀和（全国健康保険協会）

「社会保障給付における教育支援と子どもの発達」

常森裕介（四天王寺大学）

「社会保障サービス供給体制における子どもの主体的利

益・権利保障のための比較法的検討」

倉田賀世（熊本大学）

「子育て・子育ての経済的支援策の再検討―社会手当制度を中心に―」

福田素生（埼玉県立大学）

「子どもに対する給付の形式」

平部康子（福岡県立大学）

第四四五回 二〇一五年五月十四日（土） 九州大学

「人手不足と労働立法の課題」

野田進（九州大学名誉教授）

「就業規則と労働契約（七条、一二条）」

山下昇（九州大学）

第四四六回 二〇一六年六月四日（土） 九州大学

「社会法としての障害法―条約批准に伴う国内法改正の展開と課題―」

河野正輝（九州大学名誉教授）

「医療保険における選択と競争」

松本勝明（熊本学園大学）

第四四七回 二〇一六年七月二日（土） 九州大学

「事業場外労働みなし制―阪急トラベルサポート（第一）事件・最一小判平二六・一・二四労働一〇八八号五頁」

「通勤災害―国・羽曳野労基署長（通勤災害）事件・大阪高判平一九・四・一八労働九三三七号一四頁」

「経歴詐称―炭研精工事件・最一小判平三・九・一九労働六一五号一六頁」

早川智津子（佐賀大学）

「親会社による子会社解散と労働関係―第一交通産業（佐野第一交通）事件・大阪高決平一七・三・三〇労働八九六号六四頁」

中内哲（熊本大学）

二〇一六年社会法研究会夏季合宿 二〇一五年九月八日（木）、九日（金）

「書評二本・西谷敏『労働法の基礎構造』+和田肇『労働法の復権』」

野田進（九州大学名誉教授）

「社会法としての社会保障法―社会福祉法研究を振り返って」

河野正輝（九州大学名誉教授）

「イギリスにおける遺族年金の廃止」

丸谷浩介（佐賀大学教授）

「いま『社会法』論とは―柴田滋『社会法総論』（二〇

一五年、大学教育出版)の書評に代えて―」

柳澤旭(山口大学名誉教授)

第四四八回 二〇一六年一〇月一日(土) 九州大学

「ドイツ医療保険法」

ウルリッヒ・ベッカー教授(マックス・プランク社

会法・社会政策研究所所長)

通訳 松本勝明(熊本学園大学)

第四四九回 二〇一六年十一月五日(土) 九州大学

「最新判例からみる労働法重要論点―病気の不申告と使用者の安全配慮義務(東芝うつ事件最判を素材に)」

所浩代(福岡大学)

「労働法における集团的・集合的規範の歴史的淵源と労働契約関係における合意の意義の歴史的探求」

新屋敷恵美子(山口大学)

「企業秩序遵守義務違反としてのハラスメント」

野田進(九州大学名誉教授)

第四五〇回 二〇一六年十二月三日(土) 熊本大学

「甲野堂薬局事件(最小判平二六・三・六労働一一一九号五頁)」

新屋敷恵美子(山口大学)

「ケースワークの法的構造」

丸谷浩介(九州大学)

九州大学産業法研究会

第六六三回例会 平成二八年四月一六日(土)

(判例研究)

大阪高判平成二七年五月二一日金判一四六九号一六頁

「監査役の責任と責任限定契約」

報告者 千手 崇史(福岡工業大学)

第六六四回例会 平成二八年五月二一日(土)

(研究報告)

「格付機関の格付に対する信頼と金融機関の取締役の責任―ドイツにおける経営判断原則との関係において―」

報告者 久保 寛展(福岡大学)

(研究報告)

「保険とクレジット・デリバティブの法的区別の再構成」

報告者 嘉村 雄司(島根大学)

第六六五回例会 ※平成二八年六月二五日(土)・二六

日(日)の九州法学会に振替え

第六六六回例会 平成二八年七月一六日(土)

(研究報告)

「有価証券報告書虚偽記載に基づく損害賠償請求と損害額の算定」

報告者 前越 俊之（福岡大学）

（研究報告）

「事業譲渡に関する判例法の発展」

報告者 牧 真理子（大分大学）

第六六七回例会 平成二八年九月一七日（土）

（判例研究）

東京地判平成二六年一月二三日判時二二二一七七一頁

「システム設計の不備による個人情報等の漏洩と個人情報

保護法」

報告者 千手 崇史（福岡工業大学）

（判例研究）

大阪高判平成二八年二月二五日金判一四九〇号三四頁

「クロレラチラシ配布差止等請求控訴事件」

報告者 泉 日出男（愛媛大学）

第六六八回例会 平成二八年一〇月一五日（土）

（判例研究）

東京地判平成二七年一〇月二日金判一四八〇号四四頁

「標準等の譲受会社に会社法二二条の責任が認められた

事案」

報告者 高木 康衣（熊本大学）

（判例研究）

大阪高判平成二八年二月一九日判時二二九六号一二四頁

「弁護士賠償保険における『他人に損害を与えることを

予見しながら行った行為』に該当しないとされた事例」

報告者 井上 能孝（福岡大学）

第六六九回例会 平成二八年一月一九日（土）

（研究報告）

「イギリス法における役員報酬規制」

報告者 原 弘明（近畿大学）

（研究報告）

「米国の附属定款をめぐる動向」

報告者 久保 佳納子（下関市立大学）

第六七〇回例会 平成二八年二月一七日（土）

（判例研究）

東京地判平成二八年五月二六日金判一四九五号四一頁

「分割型新設分割に伴う剰余金配当に対する否認権行使

の可否」

報告者 笠原 武朗（九州大学）

（判例研究）

大阪高判平成二七年二月二七日判時三二五九号四六頁

「保険契約者は精神障害により自由な意思決定をすることができない状態で放火したとはいえないとして、保険者の免責が認められた事例」

報告者 久保田 光昭（琉球大学）

第六七一回例会 平成二九年一月二一日（土）

（判例研究）

東京地判平成二八年七月二八日資料版商事法務三九〇号
一三四頁

「監査委員会の不提訴判断と監査委員の善管注意義務違反」

報告者 一ノ澤 直人（西南学院大学）

（研究報告）

「濫用的会社分割における『害することを知って』要件の再構成」

報告者 若色 敦子（熊本大学）

民事法研究会

第二七〇回 二〇一五年二月一九日（土）

（研究報告）

報告者 西村重雄（九州大学名誉教授）

「条件成就擬制（民法一三〇条、参照仏民一一七八、独民一六二）拡大の一事例―遺贈義務者の父親による遺贈条件成就妨害事案」

第二七一回 二〇一六年四月九日（土）

（判例報告）

報告者 菅尾暁（九州国際大学法学部准教授）

「過払金について発生した法定利息の充當可否と充當方法（最一判平成二五年四月一一日）」

第二七二回 二〇一六年七月九日（土）

（研究報告）

第一報告者 西内祐介（近畿大学准教授）

「非顯名代理の再評価―アメリカ代理法における非顯名代理の法律構成を参考に」

第二報告者 田畑嘉洋（大阪経済大学講師）

「買主の追完請求権とその限界―性質合意と等価性からのアプローチ―」

第二七三回 二〇一六年一月二一日（土）

（研究報告）

報告者 鬼頭祐紀（九州大学大学院法学府博士後期

課程）

「いわゆる『相殺の担保的機能』に関する韓国学説」

民事手続研究会

福岡民事訴訟判例研究会

【研究報告】

平成二八年三月五日（土）

「当事者適格」概念の形成と意義——当事者適格の理論的基礎の研究（1）

松原 弘信（熊本大学）

平成二八年四月一六日（土）

民事訴訟における情報の収集と相手方の協力義務

瀨崎 録（西南学院大学）

当事者特定責任の諸問題

上田 竹志（九州大学）

平成二八年一〇月二二日（土）

アメリカ合衆国クラスアクションにおける「オプトアウト」の位置づけ

藪田 史（久留米大学）

【判例研究】

平成二八年二月一九日（金）

契約の一方当事者が契約の締結に先立ち信義則上の説明義務に違反して契約の締結に関する判断に影響を及ぼすべき情報を相手方に提供しなかった場合の債務不履行責任の有無（最一小判平成二三年四月二二日民集六五卷三号一四〇五頁）

森本 健（福岡地裁）

平成二八年六月一七日（金）

建物の区分所有等に関する法律五九条一項の規定する競売を請求する権利を被保全権利として民事保全法上の処分禁止の仮処分を申し立てることの可否（最一小判平成二八年三月一八日裁時一六四八号一〇一頁）

望月 一輝（福岡地裁）

平成二八年七月一五日（金）

時効消滅した本訴請求権を自働債権として反訴で相殺の抗弁を提出することの可否（最一小判平成二七年一二月一四日金判一四八四号八頁）

上田 竹志 (九州大学)

平成二八年九月三〇日 (金)

訴訟の目的である金銭債権の数量的な一部に対応する訴え提起の手数料につき訴訟上の救助を付与する決定が確定した場合において、請求が上記数量的な一部に減縮された後の訴えを却下することの可否 (最一小判平成二七年九月一八日民集六九卷六号一七二九頁)

大畑 朋寛 (福岡地裁)

平成二八年一〇月二八日 (金)

破産手続開始前に成立した第三者のためにする生命保険契約に基づき破産者である死亡保険金受取人が有する死亡保険金請求権と破産財団への帰属 (最一小判平成二八年四月二八日民集七〇卷四号一〇九九頁)

浅野 雄太 (九州大学)

【合同判例研究会】

平成二八年一月一日 (金)

訴訟上の和解が成立したことによって訴訟が終了したことを宣言する第一審判決に対し被告のみが控訴した場合と不利益変更禁止の原則 (最一小判平成二七年一月三〇日民集六九卷七号二一五四頁)

坂庭 正将 (福岡地裁)

九州国際私法研究会

第四一回九州国際私法研究会 (二〇一五年十二月十一日)

「仲裁の国際的法的枠組みに関する一九二〇年代の動向について…公と私、国内と国際の区別の融解？」

報告者 原田央 (東京大学准教授)

「性質決定理論再構築のための予備的考察…写像・像・逆像概念を用いた国際私法の機能及び構造の把握」

報告者 八並廉 (香川大学准教授)

第四二回九州国際私法研究会 (二〇一六年三月二一日)

「離婚の訴えに伴う親権者指定・監護者指定の申立ての国際裁判管轄権」

報告者 北坂尚洋 (福岡大学法学部教授)

第四三回九州国際私法研究会 (二〇一六年五月二一日)

「国際私法における市場の捉え方と意義…不正競争の準拠法決定を中心として」

報告者 岡田幸恵 (九州大学大学院)

「営業秘密に関する外国判決の承認および執行」

報告者 安田友 (九州大学大学院)

政治研究会

二〇一六年五月二日(土)

『政治研究』第六三号合評会・総会

二〇一六年六月一八日(土)

「立憲主義を支える力」

報告者 朝倉拓郎(九州大学大学院法学研究院協力

研究員)

「二つの資料紹介

①マキアヴェッリ、ベイコン、ホッブズの周辺―初期近

代英国政治思想史コレクション1605-1700

②「政事の構造」の「古層」―丸山眞男1974年九大講

演」

報告者 木村俊道(九州大学大学院法学研究院教

授)

二〇一六年七月一六日(土)

「欧州標準化システムの政治過程における「統合」と

「正統性」の契機―環境製品規格分野を事例に」

報告者 渡邊智明(九州大学グリーンアジア国際

リーダー教育センター助教)

「サルトーリ再考」

報告者 岡崎晴輝(九州大学大学院法学研究院教

授・放送大学客員教授)

二〇一六年一〇月一五日(土)

「コミュニティにおける熟議に向けて」

報告者 上妻潤己(法学府法政理論専攻修士課程二

年)

「リベラル・ナシヨナリズムと新自由主義―リベラルな

脱グローバル化秩序の探究」

報告者 施光恒(九州大学大学院比較社会文化研究

院准教授)

「原発再稼働をめぐる政治過程―距離と当事者性をめぐ

る考察のための準備的事例分析」

報告者 出水薫(九州大学大学院法学研究院教授)

二〇一六年一月一九日(土)

「領土とは何か?―比較から見る日本の過去と現状」

報告者 エドワード・ポイル(九州大学大学院法学

研究院助教)

「政治哲学と生活世界―レオ・シュトラウスの政治哲学

の基盤をめぐって」

報告者 松尾哲也(島根県立大学総合政策学部専任

講師)

二〇一六年二月一七日(土)

「自治体行政における協働政策―協働と委託の乖離の克服にむけて」

報告者 坂井宏介(福岡工業大学社会環境学部助教)

「J・S・ミルにおける教養と宗教―『宗教三論』解説」

報告者 小田川大典(岡山大学法学部教授)